

# マリニア松島水族館の概略史

2006年3月21日

入館1800万人目のお客様をお迎えして

**創設** : 昭和2(1927)年4月1日  
高橋良作氏により現在の地に開館

17年半

**戦中戦後** : 昭和19(1944)年秋から昭和25年春まで休館

5年余のブランク

**戦後復興** : 昭和25(1950)年4月25日  
高橋良夫氏による再興  
当時先進的な集中ろ過装置を有する展示水槽  
魚病や熱帯魚飼育、水産面の研究等での実績  
松島観光の一翼を担うレクリエーション施設としての存在

19年余

**経営引継** : 昭和44(1969)年7月20日  
仙台急行株式会社により経営が引継がれる

## その後のおもなできごと

昭和49(1974)年 全面改築 現在の**第一水族館**建設 「**魚の公園**」として開館  
昭和53(1978)年 新たに『白いミニクジラ スナメリ』を展示して話題となる  
昭和54(1979)年 マンボウ『プクプク』長期飼育世界記録更新  
昭和55(1980)年 増築 現在の**第二水族館**建設  
昭和58年度 **入館500万人**  
昭和59(1984)年 マンボウ『ユーユー』長期飼育世界記録更新  
アラスカからのラッコ4頭を展示開始  
昭和60年度 **最大入館者数 834,233人**を記録  
昭和61(1986)年 アマゾン川魚類調査実施 『大アマゾン展』開催  
昭和62(1987)年 南米チリから捕獲・輸送されたイロワケイルカ6頭を展示  
平成元(1989)年 日本一のペンギンランド新設(6種類90羽)

## マリニア松島水族館と改称

**入館1000万人**  
平成5(1993)年 **園館内のリニューアル完成**  
園内をカバーするガラス大屋根(施設改良により全天候対応)  
ジャングルコーナー(展示効果アップ)  
海のふしぎ館(映像、PCを使った参加・体験型展示)  
バイカルアザラシ展示(新展示動物)  
**入館1500万人**  
平成10年度  
平成14(2002)年 クラゲコーナー新設  
平成15(2003)年 日本動物園水族館協会総裁 秋篠宮殿下お成り  
平成17(2005)年 おもしろアクアラボ新設(新しい視点から楽しむ参加体験型展示)

## 平成18年3月 1800万人目のお客様をお迎え

平成19年4月1日で開館80周年を迎えます  
日本で二番目に長い歴史を持つ水族館(最長は富山県魚津水族館:大正2年9月1日)です  
が同一場所及び民営の水族館としては最長